



# 第 1300 回例会報告

平成25年1月17日(木) 晴

【1月はロータリー理解推進月間】

## 会長挨拶

会長 蒲地整志

## 資格とビジネス

以前、三人の師匠の話をしましたが、私の師匠の一人(簿記・会計の先生)が「世の中には資格がなくても仕事の出来る人がいる。資格があっても仕事の出来ない人もいる。君は資格があっても仕事の出来る人になりなさい」と言って下さいました。その後「君なら出来るよ」この一言が何も知らずにこの世界に飛び込んだ私に、大変大きな勇気を与えてくれたのです。

私が税理士試験に合格した時、来所したあるお客様にその旨を報告したところ「資格を取ると言う事と、ビジネスは別だからね」と言われました。

自分ではもう仕事は出来ると思っていたので、少し戸惑ったのですが、その言葉の本当の意味を知ったのは、五年位後の事でした。

その時に師匠の言葉を思い出したのです。ああ、師匠の言っていた資格があっても仕事が出来なくてこういう事なんだ。

その後は、仕事さえ出来ればと言う思いで過ごしてまいりましたが、ロータリーに入り、職業奉仕の理念に出会い、また考え方が変化したように思います。

そして、職業を通して社会に貢献する事の大切さ、難しさをひしひしと感じる今日この頃です。

1月は「ロータリー理解推進月間」です。少しでもロータリーを理解できるよう、ロータリーの友等の書籍や、インターネットなどで知識を身につ

けて下さい。

## ◇幹事報告◇

### 【報告事項】

- 1)次年度の RI のシンボルマーク、テーマが決まりましたので回覧します。ご覧ください。
- 2)広島平和フォーラムの参加案内が来ています。割り当てが大変少人数ですので、お早目の申し込みをお願いします。

### 【連絡事項】

同じくホノルルの平和フォーラムにはアウンサンスーチーさんの演説があるようです。1月26日です。

### 【受領文書】

岡谷 RC、諏訪 RC、大津中央などの各クラブ広報が届いています。

<p>■出席報告</p> <p>会員数 35名 出席対象 35名 出席者数 22名 出席率 62.9% 前回修正 74.3%</p>	<p>■ニコニコBOX</p> <p>23名 26,000円 累計 715,000円 目標額 130万円 達成率 55.0%</p>
<p>■今週のことば</p> <p>今井市長様 本日はよろしく お願いいたします 蒲地整志</p>	<p>■次回のプログラム</p> <p>1月31日 新春講話例会 山田諏訪市長 会長・幹事 クラブ奉仕委員会</p>



## 第 1300 回例会

## 新春岡谷市長卓話

本日の例会は、新春恒例今井竜五岡谷市長の卓話でした。大型事業を多く抱えた岡谷市の方向についてわかりやすくお話いただきました。



## ○142号バイパス問題

岡谷地区分は後420m で完成。青木町長も大変がんばっていますが、なんとか春宮地籍まではつなげたい。その先が大変問題になると思うが、平成18年の豪雨災害の際、諏訪が陸の孤島となったことを考えるとバイパスは絶対必要。

## ○2 市1町ごみ焼却所問題

もともとは焼却所の広域化を目指す国の指導により始まった。効率の問題や、環境問題を含め現状では広域化なしでは国の補助を受けられない。

現在岡谷諏訪各80t炉下諏訪35tの計195t炉だが、ゴミの分別、焼却ゴミの削減を進め110tのストーカー炉で行こうということになっている。岡谷の焼却所跡に建設し、灰の最終処分は諏訪市で受け持つことになるが、その問題も全員で協議していくことになっている。

11月に岡谷の焼却炉は解体をはじめ、新しい炉ができるまでは諏訪、下諏訪の炉を使って処理をする。そのためには下諏訪の炉の保守も必要となる。それでも民間委託よりは安くなる。

環境影響評価をしているが、まもなく結果が出るので検討を進め、稼動は平成28年9月を予定している。

## ○その他諏訪広域での事業

諏訪広域で婚活事業を検討している。限られた地域での婚活では、プライバシーの問題もありもっと広い範囲でとの声にこたえたい。吉本興業の婚活事業も活用したい。

介護保険は諏訪広域で160億円規模で実施中。どう健康を推進し、この規模を縮小できるかが今後の重要な問題。

## ○平成25年予算を作成中

予算編纂事業は行政にとって大変大事。9月から開始している。

第4次5カ年計画の4年目、ラストスパート中で、再度見直しをしている。

## ○工業について

たくましい産業の創造を目標としているが既存企業への支援が中心となる。しかし事業者数は20年で約半減した事実を見ていると、創業支援も大切になる。

新しい仕事をとるための企業誘致を目標とするが、なんとといっても県下で人口密度が1番は下諏訪、2番は岡谷という状況では土地の問題で大手の企業はできない。研究開発部門の企業誘致に力を入れたい。

土地がないといっても、それでも養命酒跡地を工業団地にしたいと準備しているように、やはり企業流出防止のための土地援助は欠かせないと考える。

## ○商業について

イルフのテナント撤退の後を大沢屋にお願いしている。なくなると大騒ぎだが、できると買い物に来ないというのは困るが、駐車場問題を解決したい

## ○農業について

自給率は大変低い。その上鳥獣の被害も大きい。高齢化による荒廃も問題。若い人との橋渡しの事業も重要になると考える

## ○観光について

たとえば温泉ピンポン大会というのがあり、岡谷

での実施の打診が来ている。岡谷市はピンポン台を50台を確保しているので岡谷、下諏訪、諏訪が連続してこうした活動も良いのではないかと考える

#### ○輝く子供の育成

まず大切なのは親の働く場所の確保だと考えその施作を実施したい。

障害のある子の支援、医療給付などは簡単ではないが環境を整備したい。

園児減少に伴う保育園の環境整備(老朽化対策)や延長保育を同時進行で考えなければならない。

#### ○健康で生き生きした高齢者の活動の補助

災害時の要支援者を支援をする体制を確保したい。周辺の人々の協力を仰ぐ体制作りが急務であると思う。

#### ○岡谷市消防署完成

配布の資料のような消防本部ができる。諏訪広域消防本部が入居予定だが、消防無線のデジタル化や最新システムを導入し例えば固定電話からの119を自動特定し諏訪広域全体で一番近くにいる緊急車両を行かせるシステムなどを完成させる。平成27年4月から稼働予定

#### ○病院建設

蚕糸博物館の解体が始まり敷地整備が進んでいる。平成25年着工、27年5月に完成予定。地下1階地上6階の病院を予定している。ここへ来て地熱利用した冷暖房(17、18度確保できるパイプ敷設)で3億3千万の補助確保できたのは喜ばしい。

付随施設として看護専門学校(准看護婦)を要請する予定。医師会協力を得た施設とし塩嶺病院跡地を利用。2年生の看護専門学校を設立し約30名を2学年で受け入れれば、「再度がんばろうという」人の援助にもなるし、地域医療の充実にもつながる。

#### ○岡谷駅南地区の再開発

民間活用を狙っていたが、いくらかきざしがでてきでうれしい。公募で方式で実施し、駅前のさびしさを

どうにかしたいと思う

#### ○最後に

ハード整備が重なるしんどいときではあるが、今がそれを乗り切るとき。

厳しい財政状況ではあるが、邁進したいと決意を固めているので、ご支援ご指導を心からお願いいたします。

(文責 編集者)